

安心・安全なネット利用のためにJR高知駅で高校生ボランティアの方達と早朝街頭宣伝を実施 《あんしんネット 冬休み・新学期一斉緊急行動イベント》

近年、顔の見えないSNSを悪用し若者たちを狙う犯罪、仲間はずれによるいじめなど、青少年を取り巻くインターネットトラブルが増加し続けています。

四国総合通信局(局長:吉武 久)は、高知県警察本部(本部長:小柳 誠二)及び高知県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会※は、深刻化するこうした問題の現状と対策について理解を深めていただくため、平成30年3月12日(月)午前7時30分からJR高知駅において、早朝街頭宣伝を実施しました。

多くの青少年が初めてスマートフォン等を手にする機会が増える春の進学・新入学の時期を捉え、スマートフォン等の利用により、思わぬトラブルに陥らないようにすることを目的に実施したものです。

高知駅前を通行する児童生徒や一般の方々に、インターネットのトラブル実例やトラブルを避ける対策と相談窓口を記載したパンフレット約400部を配布し、ネットの危険から身を守るフィルタリングの活用や家庭でのルール作りについて呼びかけました。

朝の慌ただしい時間帯にもかかわらず受け取ったリーフレットを足を止めて見入る方もいらっしゃいました。

総務省は例年2月から5月にかけて、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」としてフィルタリングの利用推進や青少年・保護者等のインターネットのリテラシーの向上に向けた取組を集中的に行っていましたが、神奈川県座間市で起きた痛ましい事件を踏まえ、今期は、開始時期を12月に前倒して「あんしんネット 冬休み・新学期一斉緊急行動」として取り組んでいます。

四国総合通信局では、今後も各県の青少年安心・安全ネット利用促進連絡会参加団体の協力を得ながら、講演会・セミナーの開催や大学での公開講座・研修への職員の派遣などを通じて、青少年の皆さんが安心・安全にインターネットを利用できる環境の醸成に努めていきます。



四国総合通信局の他、高知県庁、高知県警察本部、高知市少年補導センター、(株)NTTドコモCS四国、KDDI(株)四国総支社、ソフトバンク(株)、全国携帯電話販売店協会の構成員、高知県立高知丸の内高等学校の高校生ボランティアグループ「丸の内マスターズ」20名の総勢40名が参加

※ 高知県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会
高知県の警察、教育関係者、PTA団体、消費者団体、電気通信事業者等で構成。青少年が安心・安全にインターネットを利用できる環境を整備することを目的に、構成員間の情報共有や青少年・保護者等を対象としたリテラシー向上のための普及啓発活動を行っています。



高校生ボランティアや警察官もリーフレットを配布



青少年を取り巻くスマホ・ネットのトラブルとは！

・グループトークで仲間はずし

無料通話アプリなどのグループトークは会話の流れが速く、短い文章でのやり取りに誤解が生じ、仲間はずれなどにつながる事例も。

・ネットに流れた情報は回収が困難！

自撮り画像や悪ふざけ画像は取扱いに注意。一度でもネットに流れると、すべてを回収・削除することは事実上、不可能です。

・ネットだけでは相手の本当の姿はわかりません。

SNSなどで知り合った人と実際に会い、事件や犯罪に巻き込まれるケースが増えています。

・高額課金の問題も！

ゲームの課金が積み積もって大金に。フリーマアプリで保護者のものを勝手に売る、買い手に個人情報悪用されるなど。



お子様の成長段階・日常生活に応じたインターネットの使い方をご家庭で考えてみましょう。重要なのはお子様が納得できるルールを決めること。

困ったことがないかなど、お子様の様子に日常的に気を配りましょう。身近に相談できる大人の存在が何より重要です。

フィルタリングを上手に利用しましょう。

有害情報やうっかりアクセスによるトラブルからお子様を守ります。

参考リンク 安心ネットづくり促進協議会

<https://www.good-net.jp/>

(お問い合わせ先)

情報通信部 電気通信事業課 089-936-5042